

「福祉の里 ともにいきるまち宗像」を目指して

令和8年度の主な事業・予算を紹介

市社会福祉協議会では、市民のみなさんと一緒に、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを目指して活動しています。なお、詳しい事業の内容については、本会ホームページをご覧ください。

社協ホームページ▶



社協だより

224号
令和8年6月号

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

地域の福祉課題を解決するための事業の拡充

- 生活支援体制整備事業の推進
- 重層的支援体制整備事業の推進
- 認知症サポーター養成や認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすための活動(チームオレンジ)の推進
- ライフサポート事業(地域福祉権利擁護)および法人後見事業の実施
- 介護予防いきいき交流会の実施
- 市内社会福祉法人の連携・協働を推進する「社会福祉法人連絡会」の活動支援



認知症サポーターの養成



協議体(地域支え合い会議)

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力



赤い羽根共同募金

高齢者、障がい者への介護事業の実施

- 訪問介護事業
- 居宅介護支援事業
- スマイルハート(介護保険外介護・家事支援)事業の充実など



障がい児・者福祉事業

- おもちゃ図書館の運営
- 声の広報配布事業
- 手話講習会事業など



出張おもちゃ図書館の様子

福祉教育の推進

- 福祉教育セミナーの実施
- 福祉教育推進校(園)の福祉体験学習の支援など



福祉教育セミナー



福祉教育の様子

ボランティア活動の推進

- ボランティア登録の促進
- むなかたボランティアシステムの運営
- 災害ボランティアセンターに関する研修の実施など



ジュニアボランティアスクール

障害者生活支援センターの適切な運営

- 基幹相談支援センター事業の充実
- 障害者虐待防止センター事業の充実

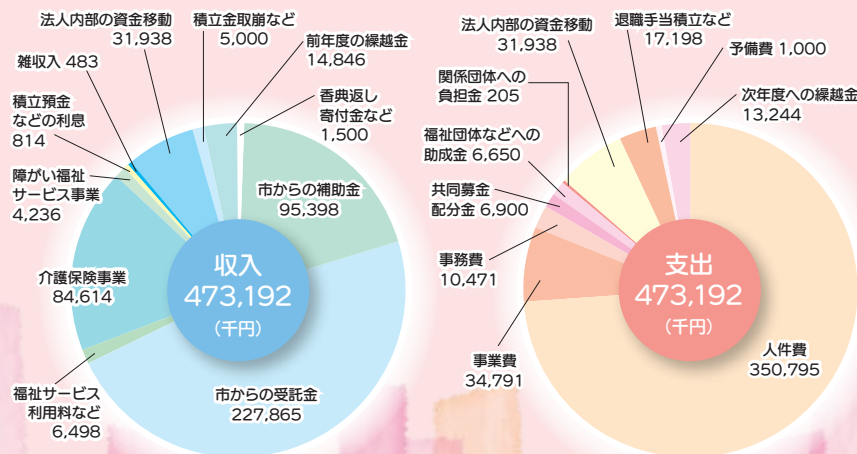
発達支援センター療育施設「のぞみ園」の適切な運営

- 児童発達支援センター事業の充実
- 障害児相談支援事業の充実



- 子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業
- 福祉団体との連携・支援強化
- 低所得者等福祉事業の推進
- 大島福祉センター「ふれ愛センター」の適切な施設運営

資金収支予算内訳表 (自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日



●その他 受講された方は、「チームオレンジサポーター登録」資格を得る事ができます

●締め切り 7月17日(金)

●申込方法 電話またはFAXで市社協まで

●参加費 無料

●参加対象 認知症サポーター養成講座を修了した方

●日時 7月28日(火) 午後1時30分～午後3時30分

●会場 メイトム 202会議室

●※午後1時～受付

●認知症サポーターのみなさんを対象に、ステップアップ研修会を開催します。認知症の理解を深め、実践的な内容を学んでみませんか。

令和8年度
第1回
認知症サポーター
ステップアップ研修会
開催のお知らせ

つながれ
ひろがれ
地域福祉!
シリーズ56

大谷の あたたかい居場所 縁側カフェ



縁側カフェの様子

参加者は高齢者を中心に、子どもやその親世代まで幅広く、世代を超えた交流の場になっていきます。お茶やコーヒーを飲みながら世間話に花

大谷公民館で開催されている「縁側カフェ」が、地域で安心して過ごせる通いの場として、多くの方に親しまれています。地域住民の「誰でも通える居場所が欲しい」という声から、縁側カフェ実行委員会が立ち上がり、令和元年4月から始まりました。人と人のご縁がつながることを願い、「縁側カフェ」と名づけれ、その名の通り、まるで家の縁側でくつろぐように、誰もが肩の力を抜いて過ごせる居場所になっています。

が咲き、参加者同士がゆったりとした時間を共有しています。日常の何気ない会話の中から、お悩み相談や情報交換が行われることもあり、心の支えとなる場としての役割も果たしています。



展示作品について説明しています

さらに、公民館の一角では季節に合わせた飾り付けや地域住民による作品の展示も行っていきます。手芸作品や絵画、写真、折り紙などさまざまな、作り手の個性や思いが込められています。こうした展示をきっかけに、「これを作ったのはどなたですか」「どうやって作るんですか」といった会話が自然と生まれ、参加者同士の交流がさらに深まり、作品を通じて新たなつながりが生まれています。

実行委員の永戸覚^{さとし}さんは、「大谷地区にお住まいの方だけではなく、多くの方の協力で縁側カフェを支えていただいています。まだまだ多くの課題もありますが、実行委員だけでなく、参加してくださ

る方々の意見も取り入れながら、この縁側カフェがますます盛んになればと思っ「す」と話しています。縁側カフェに参加して、人と人のつながりを広げる大切な場だと改めて感じました。今後も地域のみなさんと一緒に、この活動を支えていきたいと思っています。

地域支え合い推進員 三浦 第2層

【香典返し】(敬称略)

- ・(故)古賀マスエ(大島)
 - ・(故)三塩豊子(大井台)
 - ・(故)田志俊江(大島)
 - ・(故)岡部誠一(城西ヶ丘)
 - ・(故)占部悦夫(上八)
 - ・(故)花田信幸(山田)
 - ・(故)川嶋伸行(平井)
- 【一般寄付】(敬称略)
- ・自由ヶ丘二区会4丁目Bブロック8

(令和8年4月30日受付分まで) 市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けができますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)

社会福祉法人 **宗像市社会福祉協議会**
宗像市久原180番地メイトム宗像内
☎(37)1300 FAX(37)1393
大島支所 宗像市大島1809番地32
ふれ愛センター内 ☎(72)2294
ホームページ <https://syakyo.munakata.com/>
メール info@syakyo.munakata.com
本会は、むなかたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

お知らせ 令和8年6月号 むなかたタウンプレス

市内に空き家などの不動産を持つ人へ

岡都市再生課 ☎(36)9777

あなたの家の将来のこと、いま考えてみませんか？

近年、社会問題となっている「空き家問題」。地域への悪影響が懸念されるほか、最悪の場合、家屋の倒壊といったリスクを負う可能性もあります。今、住んでいる状態で、将来のことを考えることは「空き家」の発生を防ぐことにつながります。

空き家を放置することが招くリスク

敷地内の草木が適切に管理されず、伸びた枝や葉が隣接する土地に入ること、近隣トラブルや良好な住環境を損ねる可能性があります。また、建物の老朽化が進んだ結果、屋根や壁といった部材が飛散し、他者の生命や財産を危険にさらすことになります。

将来の「空き家」リスクを回避するため、知ってほしいこと

【相続登記が義務化されました】

「空き家問題」が複雑化する原因の一つに相続登記が行われていないため、登記簿を見ても所有者が分からないことがあります。このような状況を背景に令和6年4月から不動産(土地・建物)の相続登記が義務化されています。



【将来の相続を見据えて家族で話そう】

市では老朽化した空き家を解体・撤去する補助金や住まいについて考えるノートを活用し、家の将来を考える取組を推進しています。



専門家を招き、最新の情報を学び相談できるセミナーを開催し、みなさんの家の将来を考えるサポートを行っています。

相談無料！

不動産個別相談会&セミナー

空き家の活用や遺言書の作成方法、住宅に関する補助金の紹介や市内の不動産相場などを、専門家が分かりやすく解説！相談会では、不動産の売買、相続や空き家の管理についてなど、一人一人の状況に合わせて、専門家が直接アドバイスします。

期 7月5日(日)9:30～15:00

所 市役所南館・201 会議室

●講師

▶井上隆祐さん(井上司法書士事務所)

▶中山浩一さん(中山浩一司法書士事務所)

▶(一社)住マイむなかた会員の不動産業者

対 市内に不動産を持つ人

料 無料*事前申込必要(当日受付可)

*詳細は上記コードで確認を

申 岡住マイむなかた ☎(37)2525



井上さん



中山さん